

令和7年度 改善実施状況報告書【国際】

推進責任者：グローバル推進機構長

改善を要する点			改善計画	計画の実施主体	計画の 実施状況	備考
年月	内容	根拠				
令和7年10月	「ダブル・ディグリー・プログラム（DDP）」による交流学生数は目標値に達していない。本学からのDDP学生派遣を増加させるため、今後、学内の周知の強化や奨学金等の経済的支援の充実を検討する必要がある。	本学からのDDPによる学生派遣が行われておらず、DDPによる受入れも十分とは言えない状況であるため、交流学生数が目標値に達していない。	両方向の学生交流が見込まれるDDPの開発を進めるとともに、令和8年度学長裁量経費（国際力強化事業）を効果的・戦略的に活用し、DDPによる学生派遣に対する経済的支援等を検討する。また、海外オフィス等を通じた広報活動を行う。	グローバル推進機構	☐ 検討中 ☒ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()	
					☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()	
					☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()	